

みんな

市民とあゆむ

議会の

ひ

ろ

ば

おかや市議会だより Okaya City Assembly News 2023年（令和5年）7月25日発行

No. 32

2023 JUL.



岡谷市議会 新体制でスタート!!

特集

レイクウォークでアンケート

岡谷市の関心事は？ P.8 P.9

岡谷市
今昔物語

みんなと歩んだ100年 P.16

岡谷市議会新体制でスタート

【議長】今井 康善



今春の市議選は、定数割れ無投票での当選結果となったことから市民からの厳しい目に加えて全国的にも注目されています。これまで以上に岡谷市の発展と市民福祉の充実に向け、さらに開かれた議会を推進すべく「情報のオープン化」「住民の参加」、「議会機能強化」に重点を置き議会改革に真摯に取り組んでまいります。

【副議長】小松 壮



副議長という大役を仰せつかりました。議長および新人議員の皆さまを支え、議会運営が円滑に進むようサポートしてまいります。

【監査委員】中島 秀明



市の発展、市民生活と福祉向上に向けて正確性、合理性、合法性に配慮して監査します。

常任委員会

岡谷市議会では、3つの常任委員会（総務委員会・社会委員会・産業建設委員会）を設置しています。常任委員会では、所管する事項に応じて付託された議案、請願・陳情などを審査します。また所管事項に関する調査を行います。

総務委員会



総務委員長：吉田 浩
総務副委員長：早出 すみ子

委員：今井 康善 花岡 健一郎
宇野 香二 今井 浩一

情報共有の徹底と公正な審査、視察研修を重ね政策提言に取組む。

社会委員会



社会委員長：山崎 仁
社会副委員長：秋山 良治

委員：土橋 学 小松 壮
田村 みどり 上田 澄子

子育て世代支援や、障がい者の自立に向けての施策の確立。

産業建設委員会



産業建設委員長：渡辺 太郎
産業建設副委員長：藤森 弘

委員：酒井 和彦 中島 秀明
笠原 征三郎

人が集う賑わいと活力溢れるまちを目指し、各委員が持ち味を発揮！

議会運営委員会



議会運営委員長：笠原 征三郎
議会運営副委員長：花岡 健一郎

委員：山崎 仁 宇野 香二
上田 澄子 渡辺 太郎
吉田 浩

議会の運営や活動はもとより、陳情・請願についても研究したい。

ICT推進部会

部会長：中島 秀明 副部会長：藤森 弘 委員：土橋 学 上田 澄子 花岡 健一郎 田村 みどり

令和5年度

議員17人の抱負

※順番は議席順です。



今井 康善

活力ある未来をデザインし新たな価値を創る



秋山 良治

子育てしやすいおかなを目指して！！



土橋 学

岡谷市民と共に進み、市民の未来を実現する



花岡 健一郎

三世代同居型社会を目指す



山崎 仁

魅力あるやまびこ、湖畔、両公園の整備事業



小松 壮

住みたい・住み続けたい岡谷市を目指す！



藤森 弘

産業振興と交流人口の拡大に取り組む



宇野 香二

誰もが輝き、安心で活力ある岡谷市を！



田村 みどり

活力ある人に寄り添うやさしいまちを目指す



酒井 和彦

同一労働同一賃金、教育福祉従事者賃金向上



上田 澄子

医療・介護・子育て、安心の岡谷市を！



早出 すみ子

市民によりそい暮らしのち・平和を守る



今井 浩一

文化芸術をまちづくり・人づくりの真ん中に



渡辺 太郎

安全・安心&幸福と彩りのあるまちづくり！



吉田 浩

議会の見える化に努め市民と対話し共に進む



中島 秀明

岡谷市の未来を市民と共に考え、築きます！



笠原 征三郎

戦争への道ではなく、平和の道を皆で歩む

令和5年度新体制

一般質問

特集

一般質問

6月定例会

ズバリ! 市政に問う!

令和5年
第3回定例会(6月)

ダイジェスト編

質問	議員名	ページ
長期に亘る物価高騰から幅広く市民の生活を守る施策は?	笠原 征三郎	4
ラオカヤと駅周辺のまちづくりについて	秋山 良治	5
今井市長から次期市長へ託したい思いとは?	田村 みどり	5
地域福祉計画の推進は?	花岡 健一郎	6
小中学校のICT活用と情報モラル教育の現状は?	吉田 浩	6
岡谷市の不登校児童生徒の現状は?	渡辺 太郎	7
投票率の向上対策と選挙公営の実施は?	宇野 香二	7
小中学校の議会教育に関して?	中島 秀明	10
少子化対策にもなる学校給食費無料化の実現は?	上田 澄子	10
選挙公報の配布方法は?	酒井 和彦	11
マイナンバーカードの交付率は?	早出 すみ子	11
諏訪湖環境研究センター(仮称)の概要は?	土橋 学	12
ジョギングロード工事の進捗状況と今後の予定は?	山崎 仁	12
岡谷市民病院の経営状態は大丈夫か?	藤森 弘	13
「障害者による文化芸術活動」推進計画の策定予定は?	今井 浩一	13

一般質問

- 議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めたり、質問をすることです。
年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。
- 質問順は、“くじ”で決めています。

▶ 岡谷市公式チャンネル

★各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



Q 4月の市会議員選挙は「定数割れ無投票」となったため選挙公報が配布されなかったが、発行すべきではなかったか。

A 公職選挙法及び選挙公報の発行に関する条例において、選挙が無投票になった場合は選挙公報の発行手続きは中止される。よって、今回の市議選では選挙公報は配布しなかった。

Q 期日前投票の割合が増えてきている。そのために今より選挙公報の早期配布はできないか。

A 告示日(日曜日)の夕方に原稿を締切り、直ちに業者へ原稿を納め、月曜日の夕方には選挙に納品される。それを選挙で、各区の「組」の世帯数に仕分け、火曜日の午前中に各区に届けている。

この様に各区の協力を得て、今



笠原征三郎



選挙公報の発行について

Q 長期に亘る物価高騰から幅広く市民の生活を守る施策は?

A 物価高騰が市民生活に与えている影響に鑑み、昨年実施して評価をいただいた「プレミアム付き商品券事業」を、昨年同様プレミアム率50%での実施を検討している。

でも早期配布に努めている。

入札時の落札率について

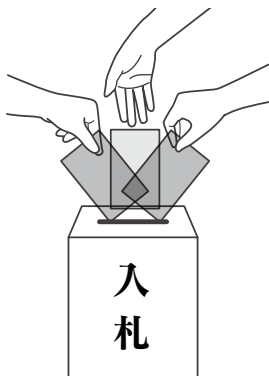
Q この数年の入札時における落札率が、かなり高い数値になっている。予定価格が1000万円以上のもので、最高・最低・平均の落札率は。

A 令和4年度では、最高100%、最低91・17%、平均98・81%である。

Q 落札率100%とか99%などの数値は、奇跡的と言うか、神わざとしか言いようがない。

そこで、予定価格を事前公表する考えはないか。

A 入札前に公表すると、その価格が目安となって競争が制限され、落札価格が高止まりになることから事前公表は考えていない。



公正・公平の入札の実施を

Q ララオカヤと駅周辺のまちづくりについて

A 令和5年3月下旬に、全ての権利者と売買契約が締結。ララオカヤの権利の一本化の目的がつき大きな節目を迎えた。



秋山 良治



Q 岡谷駅周辺のまちづくりビジョンは？

A まちづくりの主役である市民の皆様との対話を重ね、人口減少、少子高齢化などの課題などの的確に捉えながら検討を深めたい。

森林の整備について

Q 森林の整備状況は？

A 水源かん養機能、山地災害防止機能、保健・レクリエーション機能、木材生産機能といった4つの多面的な機能発揮のための取り組みを行っている。

Q 整備されている割合は？

A 今後も繰り返し行う必要があるが、県作成の森林簿によると約7割において間伐・除伐の整備が行われている。

Q 未整備の森林への対策は？

A 森林所有者による施策が困難な森林を中心に、市が仲介役となり、林業経営者とを繋ぐ『森林経営管

理制度』が始まっている。

Q 市民への意識醸成と周知は？

A 森林は、環境保全や防災、水の浄化など様々な働きがあり、私たちの暮らしを支えている。ホームページや農林水産課の窓口、市の施設にパンフレット設置、ポスター掲示をしている。

新型コロナウイルス感染症の5類移行について

Q 5類感染症移行後の考え方は？

A これまでの『法律に基づき行政が要請・関与していく仕組み』から『個人の選択を尊重した取り組み』へ大きく変わるものである。マスクの着用は個人の主体的な判断に委ねることが基本。

Q 重症化リスクは？

A 重症化割合は年齢によって異なる。2022年7月から8月診断で、重症化は50歳以下で0・01%、60・70代で0・26%、80代以上で1・86%となっている。



解体が決まったララオカヤ

Q 今井市長から次期市長へ託したい思いとは？

A 私たち岡谷市民には、先人たちから受け継ぐ「産業の集積」「歴史と文化」「恵まれた自然環境」など多くの財産を次の世代に確実につないでいく役割があること。



田村みどり



Q 今井市長、4期16年の市政運営の中で、印象に残る施策とは？

A 数多くの施策、事業展開をして、岡谷市の発展と市民福祉の向上のため、そのすべてに全身全霊をかけた、全力で傾注して取り組んできた。6大事業として取り組み、市民生活の安全・安心を支え、健康で生きがいを持って暮らしていくための基盤施設である、「岡谷市民病院」「岡谷市消防庁舎」「諏訪湖周クリーンセンター」「岡谷市看護専門学校」「岡谷市蚕糸博物館」「岡谷市美術館」の整備が印象に残っている。現在では、6つの基盤施設がそれぞれ持つ役割や使命、目的を十分に果たし、他の施設や施策との連携を深めながら、市民生活の安全・安心のみならず、産業振興、子育て支援など、幅広い分野へ効果を広げている。

今後、岡谷市の発展のための基盤として、さらなる内容、機能の充実を期待したい。

マイナンバーカード

Q 岡谷市での申請・交付状況は？

A 令和5年4月末現在、申請率82・6%であり交付率は70・8%となっている。

Q 申請・交付率が伸びた理由は？

A 国が行う「マイナンバー事業」及び令和4年度に岡谷市独自で実施した「オカヤポイント付与事業」が大きな要因である。

これからの高齢者世帯

Q 高齢者世帯の課題に対して行政だけで対応はできるのか？

A 高齢者が抱える一連の課題に対応するには、行政だけでなくさまざまな世代がそれぞれの役割を担い、自らの課題として、認識、参画することが重要となる。



速やかな改善で将来のメリットを！

Q 地域福祉計画の推進は？

A 多様な団体が連携し、住み慣れた地域で暮らせる体制づくりを進めている。



花岡健一郎



Q 社会情勢が大きく変化する中、地域福祉計画を推進する上での課題は。

A 地域の担い手の育成とネットワークの強化が求められる。

地域の福祉活動は、地域の住民が主体的に参加協力しあうボランティア活動で支えられている。しかし、地域社会の高齢化の進展や若手人材の不足など、地域の担い手不足が課題となっている。

Q 社会福祉協議会との連携は。

A 岡谷市社会福祉協議会は、岡谷市の地域福祉を推進する核となる組織であり、市と役割分担を行い、各種福祉施策を進め、地域における生活課題を把握し支援を行うため、区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、ボランティア団体などとネットワークを築き、各種取り組みを進めている。

Q 市と各区との連携は。

A 岡谷市地域福祉ネットワーク会議を活用し、地域での支えあいの必要性や仕組みづくりへの理解・関心を深める取り組みを実施している。

地区には様々な問題を抱えている方が暮らしており、そうした地域における身近な課題に対応するため、各区に地域サポートセンターを設置していただいている。

この地域サポートセンターでは、各区の実情に合わせ、地域住民が主体となり様々な支えあいの取り組みが行われ、地域ごとにそれぞれ長い歴史や伝統を継承し、独自の運営方針に基づき、特色ある地域コミュニティが形成されていることから、市といたしましても、さらなる充実が図られるよう区と連携した取り組みを進めている。



地域福祉計画の推進

Q 小中学校のICT活用と情報モラル教育の現状は？

A 様々な場面で適切かつ効果的に活用できるよう努めている。



吉田 浩



Q 一人一台端末の持ち帰り等の活用状況は？

A コロナ禍で出席停止措置の期間の児童生徒の学びを保障するため、一人一台端末を自宅へ持ち帰れるよう全小中学校で持ち帰り訓練を実施した。昨年度は本人や家族の感染、濃厚接触者になり一定期間出席できない場合に貸し出す事例もあった。その他、長期欠席の児童生徒が自宅学習に必要な場合は、保護者と相談の上、端末を貸し出す取り組みも行っている。

Q 端末の破損等のトラブルは？

A 昨年度は242件の故障等の報告があり、自然故障等によるメーカー保証対応が41件、ソフトウェアや接続の不具合での修理対応が57件、落下等による破損が144件。昨年度、落下破損を防ぐ保護ケースを購入したが、学校での活用量が増え故障や破損についても一昨年度に比べ増加している。

Q チャットGPTなど生成AIの子どもへの影響の考えは？

A チャットGPTをはじめとした生成AIを活用したサービスが生まれる中、新たなトラブル等も発生している。学校現場での利用は、慎重な対応が必要であり、現在、文部科学省において生成AIの学校現場での利用に関するガイドラインを策定し公表する予定と伺っている。子どもたちの調べ学習において、生成AIの活用については正しい利用ができれば便利かもしれないが、深く考えを掘り下げ自分で最適解を探る思考力や判断力、読解力の育成にどのような影響があるか憂慮している。いずれにしても、今後、国から示されるガイドライン等を注視してまいりたいと考える。



一人一台端末の活用には様々な可能性があります。

Q 岡谷市の不登校児童生徒の現状は？

A 令和4年度の不登校児童生徒数は、小学校が36名、中学校が62名の計98名となり、過去5年間で最も多い年より更に増加している。



渡辺 太郎



Q 学校に馴染めない小1プロブレムや中1ギャップの状況は？

A 不登校の児童生徒が5日以上欠席した最初の学年は、小学校1年生が1番多かった。接続期を円滑につなぐ「おこや絹結プログラム」に各園校で取り組んでいる。

Q 自宅等でICTを使った学習の指導要録上出席扱いの状況は？

A 件数は若干であるがパソコン等を使用した学習に取り組んでいる場合は、その内容によって出席扱いとしての運用を行っている。

Q 現在の学校満足度の状況は？

A 小学校は86・6%、中学校は87・6%であり増加している。学校に行くのがとても楽しいと思っ

Q 国の不登校の総合対策COCCO LOPランの取り組みは？

A 中間教室、フレンドリー教室

はオンラインを通じた授業への参加やテストを受けることができる。成績評価は学習の進度を的確に把握することが必要であり本人や保護者への丁寧な対応が求められる。

Q 带状疱疹ワクチン接種費用の助成の考えは？

A 国で公費負担のある定期接種化に向けた検討が続けられている。市としても全国的な対応が必要と

考えており、今後の国・県の動向を注視していきたい。

第5次岡谷市総合計画

Q 後期基本計画に対する考えは？

A 展望人口の妥当性を検証する。社会情勢の変化や市民意見を踏まえ、「移住・定住に関する取組」「地球温暖化防止対策に関する取組」などを後期基本計画の中に追加していくべきと考える。



未来ある子ども達を応援！

Q 投票率の向上対策と選挙公営の実施は？

A 期日前投票所の増設や啓発活動で投票を促している。4月の市議会議員選挙で定数割れの要因は、選挙公営の有無も二因である可能性もあり、実施の可否を検討している。



宇野 香二



Q 選挙公営制度の経緯と今後は？

A 選挙運動用の車の使用、ビラポスター作成について実施していない。平成4年、平成19年、平成29年に法改正があり、県内他市で条例を制定して選挙公営を実施。現在、未実施は県内19市中、岡谷市のみ。4月の市議会議員選挙の結果を踏まえ、6・7月にかけて民意を聞く予定となっている。令和4年6月に市議会から要望書が提出され、実施の可否を検討中、令和6年2月頃までに結論を出したい。

防災対策と地域防災力の向上

Q 防災士資格の取得費用助成は？

A 助成は、諏訪地域6市町村で岡谷市のみ行っていない。岡谷市で自主防災連絡協議会を設置し、各区で自主防災組織が設置されている。この役員が防災に関する資格を有することは、組織の強化を

図る上で効果的であり、防災に対する意識の醸成にもつながることから、今後検討していきたい。

Q 災害時のペット同行避難は？

A 周知に努めており、同行避難訓練も実施。同室避難の体制は無し。

Q 岡谷市としての追加対策

Q 岡谷市としての対策は？

A プレミアム付商品券を検討している。国や県の支援策と連動した取組も必要。動向を注視し対応。

社会的孤立問題に対する取り組み

Q 岡谷市としての取り組みは？

A 孤独・孤立対策推進法の成立も受け、安否確認、見守り体制や相談支援の充実等の取り組みに注力。

通学路の交通安全対策

Q 岡谷市としての安全対策は？

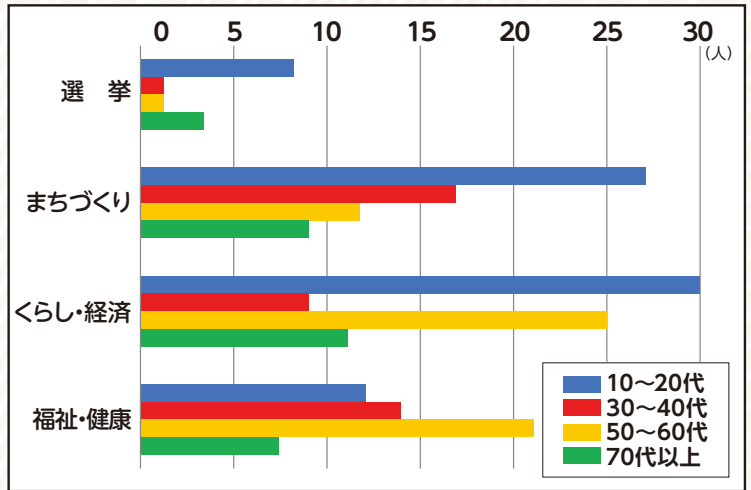
A 通学路交通安全プログラムによる対策と共に、他の危険箇所への対策、見守り活動等により対応。



通学路いつも気をつけて！



岡谷市の関心事についてアンケートを実施しました。



集計結果
 1位：暮らし・経済 3位：福祉・健康
 2位：まちづくり 4位：選挙

コロナ後の関心事は？	10~20代	30~40代	50~60代	70代以上	合計
選挙	8	1	1	3	13
まちづくり	27	17	12	9	65
暮らし・経済	30	9	25	11	75
福祉・健康	12	14	21	7	54
合計	77	41	59	30	207

- 仕事、教育、防災・環境といった「暮らし・経済」が最も多くなった。
- 9月には市長選、市議選がありますが、選挙への関心は今回のアンケートでは低めでした。
- 10代から20代の若い方からの意見もいただくことができた。

アンケートをもとに議会としての活動を活発化いたします。

207名の方から貴重なご意見をいただきました。
ご協力誠にありがとうございました。



特集 レイクウォークでアンケート

岡谷市の関心事は？

岡谷市議会（議会広報広聴委員会）では、7月8日（土）市内ショッピングセンターで、



清水 雅矢さん [10代] (左)

まちづくりにシール

「イルプラザや図書館で勉強しているが席が少ないのが残念。立ち寄りやすいお店も増えてほしい。」

佐藤 流星さん [10代]

まちづくりにシール

「ララオカヤを中心としたまちづくりが高校生にも優しく、楽しい空間になってほしい。」

小口 代美子さん [70歳以上]

暮らし・経済にシール

「物価高、光熱費の高騰が続いている。どうにかならないか。」（年金暮らし 一人暮らし）
「介護関係の仕事をしたり、夫の介護もしてきた。娘も福祉関係で働いているが、大変な職業だ。」



中原 みづほさん [70歳以上]

福祉・健康にシール

「健康が一番気になる。「元気で長生き」どうすればいいか。」
「蚕糸公園に木がないのはどういうことか？残念に思う。」
「湖があってぐるりと回れるのはここ諏訪湖だけである。」



匿名希望Aさん [30代]

「広報おかや」を見ている方だが、新蚕糸公園はなんの情報も伝わらないまま出来てしまった印象です。利用法を考えてから作るのが筋だし、樹木を極端に減らしてしまったために日陰もなく、使いにくい公園になってしまった。進め方が時代に逆行している。議会もしっかり機能を果たしてほしいと思います。

駅周辺のまちづくり

産科のドクター

イベントに頼らない活性化

蚕糸公園の木がない。

シルキーバスの運行

中央通りの活性化

Q 小中学校の議会教育に関して？

A 魅力と活力ある学校づくり推進プランのキャリア教育で位置付け。



中島 秀明



Q 学校での議会教育の現状と今後

A 小中学校では学習指導要領に基づき社会科や特別活動で議会見学や模擬議会を通じて、その仕組みを学んでおり、実践的な取り組みによる学習の中で地方議会（市議会）に関する知識の習得を目指している。

今後は、政治的中立を担保しつつ、議員や市議会側との連携を図りながら、より具体的な取り組みをしていくことが必要であると感じている。

消防団の現状と今後のあり方

Q 消防団の現状・活動状況と課題

A 団員の充足率は、4月1日現在、定数549名に対して77.6%。昨年度は、火災・水害出動11件、演習訓練、広報活動、搜索、特別警戒等で計374件の出動があり、のべ6382人が出動し活動した。

現在、団員の確保が最重要課題で、車両の更新、技能講習会、資格取得等により団員確保に努めている。



消防ポンプ操法大会

Q 大会の開催状況と今後の対応

A 消防操法大会はコロナ禍で4年ぶりに開催され、ポンプ車操法に九分団、小型ポンプ操法に三分団が出場し、消防ラップ吹奏も併せて実施。今回、各分団の実情を考慮したために出場分団数が減少したが、消防団員の訓練不足による技術力低下を補うために消防団内の活性化委員会等で技術力の向上に向けた対応策を検討していく。

Q 少子化対策にもなる学校給食費無料化の実現は？

A 給食費無料化が実現すれば、子育て世代に対する大きな支援となるが、多額の財源を必要とするため実施は困難と考える。現在、物価高騰分は公費負担をしている。



上田 澄子



Q 「食育」という観点からの学校給食の考え方は？

A 食育として重要と考える。

Q 食育という点からも無料化が必要ではないか。給食費を無料にした場合の財政負担額は？

A 概算で年間約2億円を超える一般財源が必要となる。他の行政サービスにも影響する恐れがあるため、市単独での実施は困難。

3歳未満児の保育料軽減策を

Q 3歳未満児の人数と保育利用者数の割合は？

A R3年が28.4%、R4年37.3%、R5年35.3%で、人数は300人程となっており増加傾向。

Q 女性が働き続ける為にも保育料軽減は必要。保育料の最高額は？

A 6〜7万円となるが、これを軽減すると利用が促進され、保育士の負担増や施設等の整備が必要で、

国の動向をみていきたい。

公共交通の利用改善策を

Q 利用状況と改善策は？

A シルキーバスはR4年、1便当たり利用者6.9人。「おでかけパス」や時刻表改訂等改善。ふくしは、1日当たり54.6人、免許証返納者に利用券交付等改善。

Q 市民からの要望を多く聞いていく。運行への今後の改善策は？

A シルキーバスは、現行路線を基本に市民の意見を聞きながら対応していく。ふくしは、高齢者の増加にも持続可能な交通手段として検討、展開していきたい。



充実が期待される公共交通

選挙公報の配布方法は？

A 選挙管理委員会から区と隣組を經由して各世帯に配布している。



酒井 和彦



Q 区に加入していないと配布されないのでは？

A 選管に連絡があれば郵送で対応。各区や3支所、カルチャーセンター及び市役所1階にも設置。

【要望】 郵送では間に合わない可能性があるが、そもそも配布されるのが住民の権利なのでよりよい方法を考えてほしい。

市の災害情報発信

Q 岡谷市のSNSアカウントについてツイッターでも災害情報を発信してはどうか？

A 災害避難等の情報は迅速かつ的確な避難行動につながるが大変。「メール配信@おかや」、ラインで「岡谷市公式LINE」を昨年8月から運用。

【要望】 市民有志による災害情報のツイッターにもフォローワーが1000以上あるので、そういった需要も検討してほしい。

生活困窮者向けフードバンク

Q 市民の困窮時用のフードバンクは炭水化物に偏重していないか？

A 昨年「長野県フードサポートセンター」が設置され、野菜や卵などの生鮮食品が個別配送されるようになった。

新型コロナウイルス感染症

Q 5類移行後の診療の対応は？

A 岡谷市民病院は、移行前と同様の診療体制。軽症者には自宅療養の検討をお願い。

Q 軽症者とはどの程度の症状？

A 1日程度でおさまる自覚症状。

Q 岡谷市内の市民病院以外の医療機関の対応状況の周知方法は？

A 長野県の「長野県新型コロナウイルス感染症総合サイト」で周知。



抗原検査簡易キット

マイナンバーカードの交付率は？

A 0歳～9歳56・1% 10、20歳代68・6%
30、40歳代66・2% 50、60歳代73・6%
70歳以上75・1%



早出すみ子



Q ひも付けされているものは？

A 税情報や社会保障に関する情報がある。本人同意のもと利用できる仕組みである。任意により、健康保険証や公金受取口座に結び付けることが可能である。

Q 市内でのトラブルの発生は？

A コンビニ証明書交付やマイナ保険証、公金受取口座などの報告がされているが、市内での相談等はない。

Q マイナ保険証を利用できる医療機関は？

A 医科18、歯科24、薬局19。全体の約7割で利用できる。

Q マイナ保険証を利用できない人への対応は？

A 「資格確認書」を提供する。紙の保険証は廃止後、1年間は有効にする経過措置を設けるとされている。

【要望】 保険証の無い人が多数である危険あり。マイナ保険証の廃止を。

横河川の桜並木

Q 横河川の桜並木の保存・管理は？

A 桜自体は地元区の所有である。地元区からは人口減少や高齢化の進行などにより、地域活動の担い手不足の課題を伺っている。貴重な観光資源であり、緑化推進の観点からも今後の管理のあり方など地元区の意見や意向の把握に努めてまいりたい。

【要望】 地元区によりそつ支援を。

生理の貧困

Q 小中学校のトイレへの生理用品の配置は？

A 衛生面や管理面、心無いいたずらや他の子どもたちに知られてしまつ心配などがあり、保健室に常備しながら、養護教諭から渡している。**【要望】** 生理用品のあるトイレを。



さくら花幾春にかけて横河川

Q 諏訪湖環境研究センター(仮称)の概要は?

A 諏訪湖環境研究センターは、令和6年4月に開設する予定の諏訪湖の環境改善や県内河川・湖沼等の水環境の保全に向けた課題解決の調査研究機関で、県有施設ですが、連携協力して進めたい。



土橋 学



Q 学びの場として活用は?

A センターは、情報発信・学び・連携の機能として「学びのスペース」を掲げている。小中学校が行う環境学習や調査データの提供が期待される。県に働きかけを行う。

市立小中学校のバリアフリー化

Q 小中学校の実態は?

A 昇降口や廊下にスロープの設置や障がい者対応のトイレの設置を行っている。エレベーターは、岡谷東部中学校に整備済み、本年度中に岡谷田中小学校に整備予定。

Q 避難所として学校の状況は?

A 各校の防災倉庫には避難時に必要となるシートや毛布などを整備し、バリアフリー化には経費がかかるが、できるだけ早くから進めて行く。

Q エレベーターの設置予定は?

A 学校ごとに施設の状況が違うので、大規模改修事業などに合わせて、

設置の適否を判断して、対応していく。

ひとり親家庭の現状と支援施策

Q 岡谷市としての取り組みは?

A 岡谷市自立支援教育訓練給付金を支給し、修行期間に給付する岡谷市高等職業訓練促進事業や、ハローワークと連携した就労相談を実施している。

Q ひとり親の利用促進は?

A ひとり親の新規申請時制度について案内する。毎年行われる児童扶養手当の現状届の提出の際、福祉制度事業一覧を配布している。また、個別相談でも案内している。

Q 児童の心を支える支援は?

A 学校、保育園等関係機関、関係部署等の連携、家庭児童相談員、臨床心理士などの専門的な支援。地域では、民生児童委員が声掛け見守りを行い身近な援助をしている。



諏訪湖の環境を守る

Q ジョギングロード工事の進捗状況と今後の予定は?

A 県及び2市1町で整備を進め、岡谷市の区域は塚間川から釜口水門までの区間を実施。県の区間は湊湖畔公園から釜口水門までの3キロの整備を残し、両工事とも令和5年度末には全線開通を目指す。



山崎 仁



Q 近年の健康志向もあり湖畔公園でジョギング等を楽しむ市民も増加しているが、冬の朝は暗いが照明灯の増設、改良の考えは?

A 照明灯については防犯面や安全に利用する為に必要な設備で、現場や利用状況を確認し、設置場所や設置数、照度などを検討する。

ホームページを活用した観光

Q 岡谷市のホームページにある「旅たびおかや」では、季節の花やイベント情報など観光PRを行っているが、企画や運営は?

A 企画や運営は岡谷市観光協会が行っている。イベント情報、観光施設、土産品の紹介、飲食店の案内等を発信。また、近年はフェイスペインスタグラムなどを活用して情報提供する。

Q 新型コロナウイルスの影響で、団体旅行から個人旅行が主流になっ

たがホームページの内容の改良は?

A 「くらしマップおかや」を活用して「おかや観光ナビゲーション」を作成し、観光客の利便性の向上を図った。

目的別に観光情報が検索でき、施設名を選択すると紹介が閲覧できる。また、団体旅行やインバウンドも回復傾向で、内容を見直しPRに努める。

Q モデルコースを増やしホームページに掲載すれば、観光客の利便性向上に繋がると思うが考えは?

A 「あるく」では5コース、「自動車」では2コース、「自転車」では3コースを用意し、ルートや所要時間を掲載し、動画による楽しさも伝えているが市内を観光できる魅力あるモデルコースの創出に取り組んでいく。



湊湖畔公園の外燈

Q 岡谷市民病院の経営状態は大丈夫か？

A 直近5年間の経常収支は令和元年のみ赤字で他は黒字を確保。



藤森 弘



Q 新病院建設時の起債額は？

A 64億2590万円余で、5年間の据え置き期間を経て、令和3年度末までに4億2907万円余を返済し、未償還元金は59億9982万円余になっている。

Q 起債の返済原資は何か？

A 病院事業の起債は借入額の25%が地方交付税として岡谷市に措置される仕組みで、その地方交付税を基とした一般会計負担金と病院の診療により得られる収益を原資として年2回元金及び利子を償還している。

Q 医師や看護師は十分か？

A 消化器内科と整形外科の医師を追加募集中だが、看護師、医療技術員、事務員などは必要数を確保できている。入院患者7名に対して看護師1名の基準も満たしている。

Q 病児・病後児保育の現状は？

A 市内の民間医療機関に事業を委

託して実施。市への事前登録が必要で、平日の午前8時半から夕方5時半まで利用できる。感染症の陽性者は利用できないルール。

スマートシティへの取り組み

Q ICT（情報通信技術）を活用したまちづくりの現状は？

A 第5次岡谷市総合計画の基本構想で「ICT利活用の推進」を掲げており、今後も国の動向を見据えて必要な見直しを行っていく。



健康長寿を支える岩
「岡谷市民病院」

Q 「障がい者による文化芸術活動」推進計画の策定予定は？

A 「障がい者による文化芸術活動の推進に関する法律」に鑑み、岡谷市障がい者福祉計画に基づき、先進地の取り組みを参考に、関係部署と連携して積極的に取り組みを推進。



今井 浩一



Q 障がいのある方への文化芸術の提供

A カノラホールではカノラ・オーケストラ、カノラ少年少女合唱団が要望に応じて施設や公民館に出向いて、ホールに足を運びにくい方を対象に公演を行える体制を整えている。合唱団は介護施設において定期的な演奏会も実施。また、シルキーチャンネルでコンサートを放映するなどの取り組みも。

イルフ童画館は要望等があった際は、希望者と打ち合わせを行い、レプリカの出張展示や学芸員による作品説明、オンラインでの鑑賞等の対応ができる体制を整えている。

美術考古館では学芸員などによる出前講座を実施している。事前にご相談いただければ、可能な範囲でニーズに合った講座等を地域に出向いて行っている。

情報発信などさらなる周知に努

めていく。

対話力育成に文化芸術は有効

Q コミュニケーション教育の現状

A 子どもたちのコミュニケーション力を育む取り組みは大切、人間関係力や自己肯定感の向上を目的にスワール・ソーシャル・スキル・トレーニングを授業に取り入れている。信州大学教育学部・高橋史准教授を講師に、ロールプレイやゲームなどを通じて、コミュニケーション能力の育成を図るプログラムを3年間継続して実施している。

Q 長野県「アートの手法を活用した学び」推進事業の導入は？

A 小中学校では総合的な学習の時間などを使い、子どもたちが主体的に演劇やダンス等の表現活動に取り組んでいる。「アートの手法を活用した学び」推進事業については県のチラシ等を配布して周知に努めていく。



「アートの手法を活用した学び」推進事業パンフレット

令和5年 第3回定例会

(主な議案の審査・審議結果)

令和5年6月9日(金)から22日(木)までの14日間の会期で開かれ、報告案件5件、議案14件が提出されました。また、岡谷市基本構想特別委員会を設置しました。主な審査・審議結果は次のとおりです。

◆議案第48号

令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第2号)

本会議での提案説明(議案の内容)

今回の補正予算は、コミュニティ事業費、指定寄附金積立金、使用済おむつ自園処分事業、中央町駐車場水切り落下防止工事に必要な経費を計上するとともに、私立認定こども園施設型給付費負担金、生活保護システム改修業務委託料を追加するほか、長野県の地域少

子化対策重点推進交付金及び、地域発元気づくり支援金の採択に伴う、財源更正を行うもので、総額36,481千円を追加するもの。

※本会議での説明の後、総務委員会、社会委員会、産業建設委員会に審査付託されました。

◆社会委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

Q 園での使用済みおむつ処理の内容は?

A 従来は、園で夕方まで保管し保護者に持ち帰っていたのですが、国より自園での処理が推奨さ

れたことを受け、保護者の負担軽減を図るため、自園処理とした。

おむつを取り替えた後、においが漏れないよう、蓋つきの大型ごみ箱にて保管し、ごみの収集日に合わせ処分をする。

【要望】 におい対策や感染症対策などしっかりとやっていただきたい。この要望がありました。

Q 生活保護システムの改修の要因となった生活保護算定基準の改定内容は?

A 物価高騰など社会経済情勢を勘案し、1人当たり月額千円を特例的に加算されたことなどによるものである。

※質疑の後、討論採決が行われ、それぞれの委員会では原案のとおり可決されました。

再び本会議において議案の審議

※審議の結果全会一致で可決されました。



◆議案第50号

令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第3号)

本会議での提案説明(議案の内容)

今回の補正予算は、電力・ガス・

食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業、みなと保育園テント屋根張替工事、おかや生活応援プレミアム付き商品券及びオカヤペイによる生活応援事業に必要な経費を計上するとともに、物価高騰等により不足が生じる学校施設バリアフリー化事業を追加するもので、総額490,900千円を追加するもの。

※本会議での説明の後、総務委員会、社会委員会、産業建設委員会に審査付託されました。

◆総務委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

Q 学校整備事業費の岡谷田小学校のエレベーター設置について、児童数の推移と設置の効果は?

A 岡谷田中小学校は300人規模の学校であるが、まちの中心部にあり、今後も急激な児童数の減少は見込んでいない。また、市内小学校では初めてのエレベーターの設置となるため、学校のバリアフリー化、インクルーシブ教育の観点からも重要視している。



エレベーターが設置される岡谷田中小学校

Q 追加費用の内訳は?

A エレベーター増築工事に760万、多目的トイレ整備工事に40万円とのごとでありました。

◆社会委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

Q みなと保育園の改修工事の内容は?

A みなと保育園に設置されているテント屋根について、経年劣化によるシートの破損が生じたため、雪害などに対し耐久性のある継ぎ目のないシートへ張替え工事を、運動会開催前の9月中旬までに完了を目指すものである。

◆産業建設委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

Q おかや生活応援プレミアム付き商品券及びオカヤペイによる生活応援事業において事業者のキャッシュフローへの影響は？

A 商品券は概ね2週間に1度、オカヤペイギフトカードについては月末締め翌月払いで、現金化するため、事業者のキャッシュフローへの大きな影響はない。

Q 購入引換券を簡易書留で郵送するの？

A 確実にすべての市民に引換券が行き渡り、多くの市民の方に購入していただくため、簡易書留として郵送代として前回の約300万円と比較して1,200万円増の約1,500万円を予算計上している。

※質疑の後、討論採決が行われ、それぞれの委員会では原案のとおり可決されました。

※再び本会議において議案の審議の結果全会一致で可決されました。



岡谷市基本構想特別委員会とは

令和5年第3回定例会で設置されました岡谷市基本構想特別委員会は、正副議長を除く全議員で構成されます。
岡谷市が進める第5次岡谷市総合計画（令和6年度からの後期基本計画）について、計画策定の段階から議会が計画内容を十分に理解し、市政全般にわたる市民ニーズや課題を踏まえ岡谷市が進むべき方向性を検証し、市民のための計画となるよう市側へ意見・提案をしております。

○令和5年第2回臨時会(全会一致により可決された議案等)

議案番号	件名
報告第5号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)
報告第6号	専決処分の承認を求めるとして(岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)
報告第7号	専決処分の承認を求めるとして(岡谷市市税条例の一部を改正する条例)
報告第8号	専決処分の承認を求めるとして(岡谷市都市計画法条例の一部を改正する条例)
報告第9号	専決処分の承認を求めるとして(岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
報告第10号	専決処分の承認を求めるとして(令和4年度岡谷市一般会計補正予算(第16号))
報告第11号	専決処分の承認を求めるとして(令和4年度岡谷市病院事業会計補正予算(第6号))
報告第12号	専決処分の承認を求めるとして(令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第1号))
議案第38号	岡谷市監査委員の選任について
議案第39号	岡谷市監査委員の選任について
議案第40号	岡谷市教育委員会教育長の任命について

○令和5年第3回定例会(全会一致により可決された議案等)

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第13号	令和4年度岡谷市一般会計繰越明許費繰越計算書について	議案第45号	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
報告第14号	令和4年度岡谷市一般会計事故繰越し繰越計算書について	議案第46号	岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例
報告第15号	令和4年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書について	議案第47号	岡谷市病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
報告第16号	令和4年度岡谷市下水道事業会計予算繰越計算書について	議案第48号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第2号)
報告第17号	令和4年度岡谷市病院事業会計予算繰越計算書について	議案第49号	令和5年度岡谷市下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第41号	岡谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第50号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第3号)
議案第42号	岡谷市農業委員会委員の任命について	議案第51号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書
議案第43号	岡谷市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	議案第52号	さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める意見書
議案第44号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	議案第53号	へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書

○令和5年第3回定例会(賛否が分かれた議案等一覧)

議案番号	件名	今井康善	秋山良治	土橋学	花岡健一郎	山崎仁	小松壮	藤森弘	宇野香二	田村みどり	酒井和彦	上田澄子	早出すみ子	今井浩一	渡辺太郎	吉田浩	中島秀明	等原征三郎
議案第54号	改悪された出入国管理及び難民認定法の施行中止と撤回を求める意見書	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○

○令和5年第3回定例会(陳情の審査結果)

陳情番号	件名	付託委員会	審査結果
陳情第1号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	(産業建設委員会)	趣旨採択
陳情第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書	(総務委員会)	採択
陳情第4号	さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書	(総務委員会)	採択
陳情第5号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書	(総務委員会)	採択

ご意見・ご要望
議会だよりについて、ご意見・ご要望がございましたら、下記までお寄せください。

連絡先
岡谷市議会事務局
TEL23-4811 (内線 1711)
FAX22-6213

メール
gikai@city.okaya.lg.jp

編集後記
4月に岡谷市議会議員選挙が行われ、新しい顔ぶれでスタートいたしました。
「議会のひろば」を作成する広報広聴委員会も新たなメンバーとなり、今まで以上に読みやすく、そして時代に順応した特集記事を掲載するなど、少しずつ内容を変更しながら皆様に目を通していただき、議員を身近に感じてもらえるような議会報告紙となるように努めてまいります。
このたび行われました選挙では、定数18名に対し17名の立候補となり1名不足の無投票当選となりましたが、市民の皆様のために一生懸命に頑張っている議員の姿をしっかりとお届けしてまいります。
小松 壮



故きを温ねて新しきを知る

みんなと歩んだ100年

岡谷市議会の沿革

岡谷市の前身である平野村では、普通選挙による第1回村会議員選挙（有権者5,914人）が昭和4年に初めて行われました。昭和11年4月1日、全国一の大村平野村より一躍市制（人口41,333人）を施行し、新市と

しての市議会議員選挙は、昭和11年4月26日定数30名で行われ、市制施行後初の市会議員が誕生しました。

昭和26年3月には、議員定数を4名減員して26名とする減少条例がつけられましたが、その後、昭和30年1月には隣接湊村、同年2月には川岸村を合併し、議員定数

が30名となりました。

昭和32年3月には、長地村を合併し、議員定数が36名となりました。

その後、何度か変遷を重ね平成17年12月に（平成17年12月20日原案可決）議員の定数を18人とする、議員の定数に関する条例が議決されました。



議事堂：昭和40年7月

議事堂は、昭和40年8月～昭和62年2月まで新庁舎前庭部分にありました。



旧庁舎：昭和46年3月



現在の議場

昭和62年2月新庁舎の完成により7階・8階・9階が議会関係部分となりました。3月4日議場の開場式を行い、以来新議場で審議をしています。

募集

おかや議会だより「議会のひろば」では、市民の皆さまの活躍を追いかけたいです。掲載希望の方は電話かメールで議会事務局までお問い合わせください。

電話：0266-23-4811（内線1712）

Mail：gikai@city.okaya.lg.jp

※掲載については、ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

岡谷市議会は、議員が直接現場取材することで、岡谷市議会基本条例に基づく議会能力を発揮し、市民福祉の向上及び姿勢の発展に寄与します。



●委員長：小松 壮 ●副委員長：早出 すみ子

●委員長：宇野 香二・今井 浩一・渡辺 太郎・吉田 浩・山崎 仁

議会広報広聴委員会

